

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

ワルファリンの副作用発現に影響する併用薬の検討

【研究目的】

血液を固まりにくくして血栓ができることを抑えるワルファリンは、他のお薬や食べ物がお薬の効果や副作用に影響する可能性があるため、定期的な検査などを行って確認しています。また、ワルファリンは血漿アルブミンと結合する割合が高いお薬として知られていますが、私たちのこれまでの研究において急な血漿アルブミン値の変動がなければ、血漿アルブミンの変動がワルファリンの効果に及ぼす影響は少ないことが分かりました。そのため、ワルファリンは、血漿アルブミンの変動よりも薬物相互作用などの別の要因が大きく影響している可能性が考えられます。

そこで本研究では、ワルファリンを服用している患者さんにおいて、併用薬がワルファリンの効果に及ぼす影響について調査を行います。

【研究意義】

ワルファリンの効果と副作用に及ぼす併用薬の影響について明らかにすることにより、薬物相互作用の影響を考慮したワルファリンの安全かつ適正な使用に貢献できると考えています。

【調査の対象となる患者さん】

2016年1月～2017年12月までにワルファリンを服用している入院患者さんを対象とします。

併用薬の開始前後1ヶ月以内の調査項目が不明な患者さん、術前休薬を行った患者さん、ワルファリンの処方開始から2週間経過していない患者さん、ビタミンK製剤を投与した患者さんは除きます。

【研究方法】

調査の対象となる患者さんの電子カルテより、以下について調査します。

【調査項目】

年齢、性別、身長、体重、体格指数（BMI：body mass index）、ワルファリン投与量及び投与日数、併用薬、出血傾向の有無、PT-INR 値、ALB 値、AST、ALT、血清 Cr 値、eGFR 値

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹 範明

【研究実施体制】

研究機関：愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者：助教 飛鷹 範明

研究分担者：薬剤部部长 田中 守

薬剤部主任 高田 裕介

薬剤師 宮下 智尋

松山大学薬学部：教授 野元 裕

准教授 中西 雅之

助教 日野 真美

准教授 高取 真吾

准教授 渡邊 真一

実習生 鈴木 茉美

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

研究責任者：飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5744

e-mail: noridah@m.ehime-u.ac.jp